

2020年1月8日

国際医療福祉大学 乃木坂スクール 生きた教科書、逆転の手法で社会を変える人々に学ぶ

全ての人の胸に夢を!

障害と共に生き 社会を変えたいと生きた 谷口 先生

鈴木隆子 医療福祉ジャーナリズム分野修士2年
社会福祉法人すてっぷ 理事長



1

谷口明広さん

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学

1982 パークレーCIL研修

1983 一人暮らし開始

1984 修士課程修了

1985 障害者自立生活問題研究所設立

1994「自立生活は楽しく具体的に」出版

2004 愛知淑徳大学教授

2005「障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント」

2015「障害のある人の支援計画」共著出版

2016.1.23 逝去



ニーズはチーズ!
君たちは国家公務
員です!
私の最高のパート
ナーは障害や!



家族
妻・娘・息子
実家の母

自立生活研究所
職員・介護者

2

夢を実現させるための九ヶ条

- 1.自分のことは自分自身で考えろ
- 2.好きなことを勉強しろ
- 3.どんなことでも良いから得意技を持て
- 4.できるだけ上手に他人を使え
- 5.自分自身を大好きになれ
- 6.とてつもない大きな夢をもて
- 7.ひたすら願え
- 8.しつこく、しがみつけ
- 9.感謝しろ



3

誕生から大学院入学

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学



4

1982年 アメリカバークレーCIL留学



ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学研修
2期生としてバークレー自立生活センター(CIL)
アテンダント・ケアの窓口で6か月間の実習。
自立生活(IL)概念とケアマネジメントを学ぶ



*自らもアテンダントを雇って自立生活!

*てっちゃんと一緒にロックバンド
追っかけ、青春を謳歌した!

*自分の障害を好きになる!



5

人生の転機

エドロバーツの教え

障害をもつ人々から学ぶ

「行政と喧嘩するな。そこにすごく
エネルギーを使うのだったら、一緒
に協調しながら物を作って行け。」

障害をもっていてどうして悪いの
障害をもって生きるということは、
誰にも経験できないことを体験し
ている、貴重なこと。

障害が重度、軽度というのはばか
ばかしい。

障害があろうとなかろうと本当に
楽しいことはいっぱいやろう。



1990年WID エド・ロバーツと再会

***エド・ロバーツ 「依存による立」**

衣服の着脱に1時間を要するものがいると
すれば、その人に対して介護人を派遣して
10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより
人間的に有意義な時間を作り出していくよ
うにする。

6

出会いが人生にパワーを与える 恩師



堺養護学校高等部進路担当
野崎勝先生



同志社大学大学院
大塚達雄教授



同志社大学大学院
岡本民夫教授



ダスキン愛の輪
遠藤清徳事務局長

自立生活開始 経済的・社会的自立へ

- 1984 修士課程修了
一人暮らし開始 アテンダント制度実践
- 1985 障害者自立生活問題研究所設立
- 1988 同志社大学大学院博士課程入学
- 1993 結婚
- 1994 「自立生活は楽しく具体的に」出版



最高のパートナーみずほさん



1993年 結婚



子供が生まれました

2005年社会福祉学博士
(同志社大学)取得



研究者としての足跡

2004 愛知淑徳大学福祉貢献学部教授就任

京都府参与「障害者自立支援計画担当」

2005社会福祉学博士(同志社大学)取得

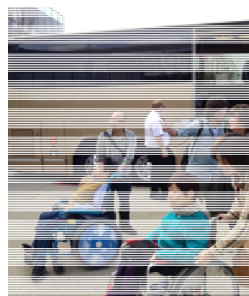
「障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント」

2015「障害のある人の支援計画」共著出版

2016.1.24 逝去



全国各地で研修、講演会、委員会で活躍



谷口明広と行く！
ロスアンゼルス研修旅行



ダスキン障害者リーダー育成
海外研修派遣事業実行委員

谷口マインドを受け継ぐ人々



11

5分間の奇跡 谷口先生しかできない!



ニーズはチーズ!放って
おくと腐る
君たちは国家公務員す!
私の最高のパートナー
は障害や!

「障害があって何が悪いのですか、きらきら光る人になってください。」

「お母さん、子供の自立を応援してくださいね。」

「夢のある、楽しい支援計画を作ってください。」

12

障害があっても夢をかなえることができる

京都新聞社会福祉事業団とのコラボ 海釣り体験教室 自立生活教室



素敵な親になるための講座 車いす自立への旅



13



京都府参与として活躍

2003年「京都府シティグラフ2003」京に吹く風コーナーに紹介される



ロスアンゼルス視察研修
ツアーで感銘を受け、宮
崎で新事業を展開開始



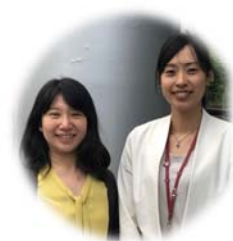
1995年
京都新聞社会福祉賞奨励賞
受賞

愛知淑徳大学 医療福祉学部 福祉貢献学科 教授



「障害者であっても、健常者であってもね自立のためには努力を重ねなければいけない。」

「まだまだこれから」「先生はいつも全力でした、研究も、教育も、楽しいことも。」



15

人生は楽しく夢をもって

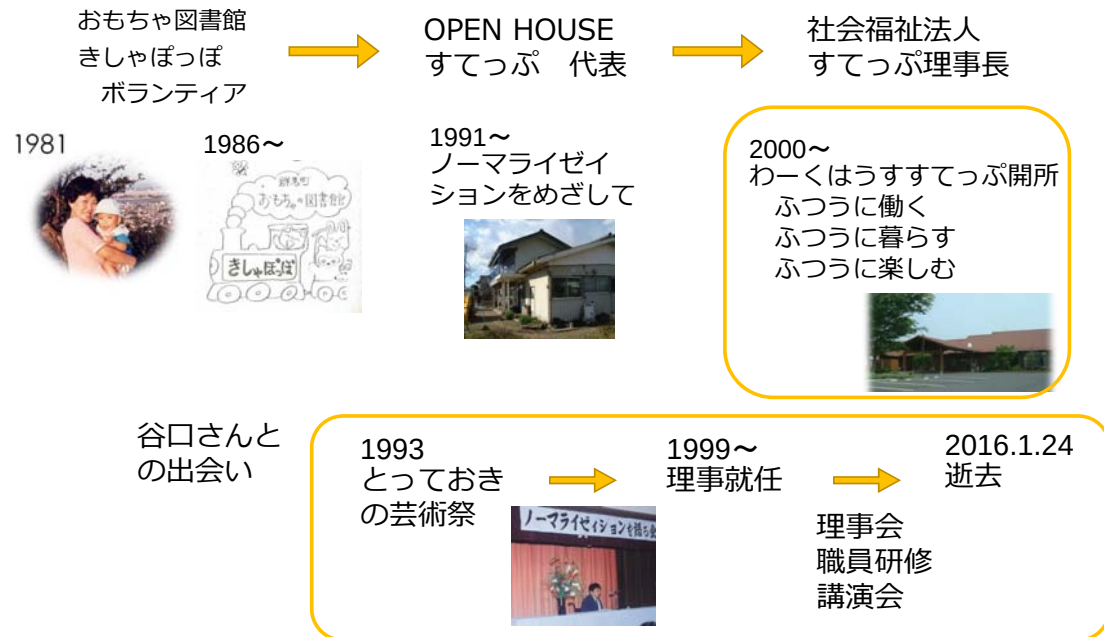


身体に障害をもっているということを大切に生きていけたらいいな、いつも思っています。



16

私とすてっぷと谷口さん



17

ご清聴ありがとうございました



「この本を読んで、勇気が湧いてくるのを感じてほしい、それが私の願いです。」
小学館学習まんが人物伝スペシャル レーナマリア

修士論文を本にして、谷口明広さんのメッセージを皆さんに届けることを願っています。

18